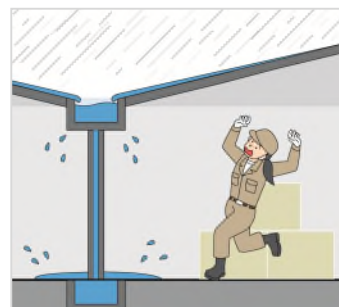


スレート屋根の豪雨対策「サンコーハイスイ UP 工法」の 販売開始について

三晃金属工業株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：青木栄一）は、工場や倉庫のスレート屋根を金属屋根でカバー改修する際に、台風・豪雨時の漏水対策として雨水排水能力を大幅に向上させる新工法「サンコーハイスイ UP 工法」を新たにラインナップに加え、受注を開始しました。

改修時期を迎えたスレート屋根の建屋では、築年数の経過に加え、近年の自然環境の変化（台風の大型化やゲリラ豪雨の頻発）により、既設谷樋の排水能力が不足し、雨水がオーバーフローして建屋内へ浸入する事例が多発しています。（右図参照）



「サンコーハイスイ UP 工法」は、スレート屋根を金属屋根でカバーする「サンコースライダー25*」と同時に施工することで、排水能力を大幅に向上させ、漏水でお困りのお客様の課題を解決できる新工法です。

特徴は、排水能力向上のため屋根材を「反り加工」し、大型の排水樋を設置するためのスペースを確保する点で、既存屋根形状や必要な排水量に応じ、3 種類あるタイプの中から適切なものを選び、雨水の浸入を防ぎます。

- ①ワイドタイプ（谷樋拡張工法/幅方向を拡張）
- ②ディープタイプ（谷樋拡張工法/高さ方向を拡張）

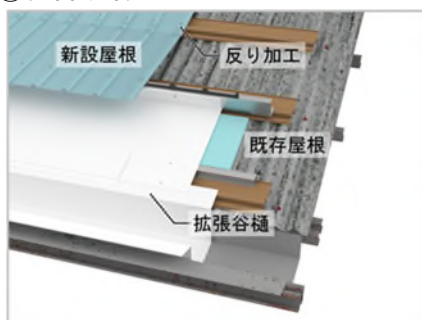
どちらのタイプも鋼板同士をハイタフ帯シートで熱風融着する「エックスロン®防水樋」で谷樋を設置（拡張）することで、様々な形状や大きさの谷樋でも確実な水仕舞を実現し、谷樋部から雨水が溢れ出し漏水することを防ぎます。

- ③ツインタイプ（中間排水工法）

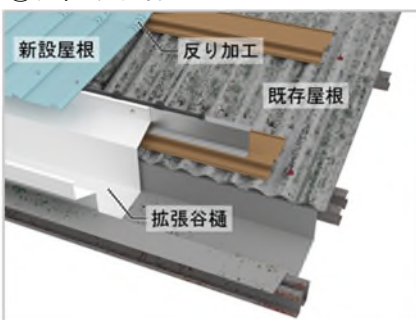
「反り加工」した屋根材で、中間排水樋を設置するスペースを確保し、既存の谷樋に流れ込む雨水の量を減らす工法です。中間排水樋の下部にも屋根材を潜り込ませることで、雨水がオーバーフローした場合でも確実に受け止める構成になっております。

※製品 web ページ (<https://www.sankometal.co.jp/products/list/detail.php?p=536#sankohaisui>)

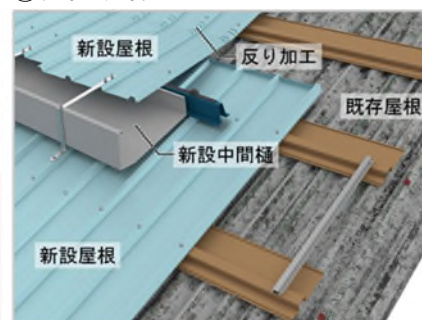
①ワイドタイプ



②ディープタイプ



③ツインタイプ



工事の際には、雨量検討だけでなく、既存屋根や建物構造の状態、耐荷重などを踏まえた事前調査に基づく工法の選定が不可欠です。当社では、これらの現地調査から工法の選定までを一貫して実施いたします。

また、改修工事後も建物を末永くご利用いただけるよう、長期保証と定期点検を組み合わせた「みまもりプログラム」をご用意しております。当社ホームページには、専用の「屋根・外壁調査依頼フォーム」を設置しており、お気軽にお問い合わせいただける体制を整えております。

*「みまもりプログラム」は改修工事のみならず新築工事にも対応可能です。

三晃金属工業は金属屋根トップメーカーとして、これからも「空と人のあいだに」ある屋根の可能性を追求することで、豊かな未来づくりに貢献してまいります。

以 上

*「サンコースライダー25」:

当社が提供するスレート屋根のカバー改修工法で、屋根上作業時の安全性確保と断熱性能の向上が可能な工法です。本工法は、通し下地にセットしたセーフティシート上で作業を行うため、スレート踏み抜き事故を防止し、作業員および建物内部の安全を確保。

さらに、既存のスレート屋根の上に新しく金属屋根を重ねることで、屋根材間に空気層が生まれ、断熱性能が向上。夏場の室内温度上昇を抑え、冷房効率の向上や電気代の節約にもつながります。

サンコースライダー25 製品ページ (<https://www.sankometal.co.jp/products/list/detail.php?p=591>)